

《アンケートまとめ》

① COVID-19 禍において、ローターアクトクラブの活動等にどのような問題が生じていますか？

- ・大学のローターアクトクラブが地区行事や会議に全く参加しなくなった事 (2740)
- ・対面行事のほとんどができない状況です。アクターミーティング、地区年次大会、ロータリーやインターアクトとの合同行事も中止、あるいはオンライン開催とせざるを得ませんでした。一方オンラインにより逆にフットワークよく会議や合同例会が行われるメリットもありました。(記名なし)
- ・ローターアクト会員の退会、例会の休会など (2700)
- ・第 2510 地区です。他地区の行事に参加するには、航空機が必須なのですが、感染リスクや移動距離を考慮して、参加を控える問題が生じている。(2510)
- ・活動の内容が制限され、学生 RAC と社会人 RAC の共働奉仕活動や他地区との共同事業ができなくなった。例会を休止している社会人 RAC の会員が大幅に減少し、RAC の存続が危うくなっている。(2530)
- ・対面での活動や報告・連絡が出来なくなりコミュニケーションが取りづらい事
特にコロナ禍になってからの新入会員とクラブ会員との関係の希薄化している様に思いますしクラブ間でのコミュニケーションが少なく、他のクラブの活動状況が見えない部分もあります。LINE 等を利用して常に連絡を取り合うように工夫はしているがお互いに十分に理解が出来ていないことが多くあるように思います。(2650)
- ・リアル例会及びリアル社会奉仕活動が出来ず、より深い親睦と丁寧なコミュニケーションが出来ずにいる。(2660)

・2020-21年度は、年次大会、地区協議会、各クラブの例会等が中止となった。今年度は、地区協議会等の会議はZOOM開催となった。行事等については、行政からの要請のために参加者が集まらないという問題があった。(2710)

・ロータリークラブに比べてローターアクトクラブは殆どコロナ禍に於いても例会を休むことなく、オンラインで開催を続けて居ります。

また地区大会等の行事も、昨年はハイブリッドで開催して、今年も同様になると予想されます。

しかしながら、野外活動はかなり制限され、延期中止を強いられた奉仕活動が多くありました。

若者ほど行動制限を強いられるのは辛いもので、ITリテラシーがロータリアンより高いとしても、対面で懇親出来ないことに対する不満は強いと思われる。

その為、アクトの活動に対するインセンティブを維持するのに、苦勞している様に見えます。

またロータリアンが余計に活動を休止させて居ることにより、アクトとの合同活動や例会参加を控えてしまい、提唱ロータリークラブとアクトクラブとの分断が見られます。(2580)

・対面での例会・奉仕事業・地区事業(会長幹事会他)がコロナの感染状況によって中止・延期・規模縮小を余儀なくされるケースが多くなっております。

また、前述のようにリアルな活動が困難であることは、会員増強や退会防止の面にも影響を及ぼしております。(D2520)

・対面式の会議が開催出来ないのでアクト同士のコミュニケーションが難しい。

当初予定していた活動計画がほとんど中止になってしまいアクト同士のモチベーションがなかなか上がらない(2510)

・年間活動計画が滞りすべての対面活動を中止にしている。

通常例会もオンラインリモート例会となる。

例会場の会場費が掛からない利点もある。

ただし、屋外での清掃活動は計画どおり実施した。(RI2550)

- ・ 会員所属企業の方針により、例会など対面での行事に参加を自粛するように通達されているため、対面での例会開催が困難となっている。
奉仕活動等も自粛状況にあります。(2630)
- ・ ZOOM を使用したオンライン併用開催が主になっていますので、事業後の懇親会が開けず、参加者同士の交流ができていません。6月開催予定の年次大会はまでには、なんとか感染状況が落ち着き、現地開催ができればと考えています。(2640)
- ・ 例会、奉仕活動の制限により活動自体がままならない状況です(2790)
- ・ 2800 地区ではリアルでの例会・会合・交流会・イベント・奉仕活動などの回数や時間が減ることにより各クラブの求心力や会員拡大の力がそがれていることが問題だと考えます。(2800)

② COVID-19におけるローターアクトクラブの活動で工夫されていることはありますか？

- ・特にありません。(2740)
- ・失敗を繰り返しながら、かなり高度なオンライン行事が行われるようになった。感染レベルに素早く対応して行事方法を決めています。(記名なし)
- ・どの地区も同じだと想像しますが、当地区においてもリアル例会を休会するクラブがあるものの、代わりにハイブリッド例会またはwebでの例会を率先して行うクラブもあります。(2700)
- ・Zoomを利用して、委員会を開催している。通常時より、頻度を多めに行っている。(2510)
- ・リモートを活用して例会を開いている社会人 RAC は、コロナ禍の様子を見ながら野外での奉仕活動などを行っている。(2530)
- ・アクターが思いを持って計画してくれた事業がコロナの影響で変更等を行い開催する、又は中止になってしまう事があるが、出来る事を出来る範囲でモチベーションが落ちないように実施する工夫をしている。やめる理由より出来る理由を考え最終的に中止となった場合でも関係頂いた皆さんに納得をしてもらうことを考えながら活動しています。また「オンラインだからこそ」可能な企画運営、例えば物理的に距離があるクラブとの合同例会などを立案しています。(2650)
- ・奉仕活動において本当に地域、人から必要とされる活動を考え、実践できるような計画を立てるようにした。(2660)
- ・各クラブの例会は ZOOM を活用し、その中では、動画を制作するなど、オンラインでの例会内容を充実させる工夫があった。(2710)
- ・ロータリークラブに比べて IT リテラシーが高いので、Web を活用して活動

を継続して居ます。

感染の危険性が少ない野外活動は、出来る限りやる方向で検討して居ますが、なかなかロータリー側が許可出来ない事情もあります。(2580)

・例会は、リアルとリモートを併用して開催しております。また、地区内での交流も、リモート(ZOOM)により地区内3クラブの合同例会を2度開催するなど交流に工夫をしております。(※幹事役のクラブから、地域の特産品等を参加者宛てに事前送付し、飲食しながら親睦を含める目的で開催し、幹事役は輪番制)

奉仕活動は、屋外での清掃活動など密を避け開催可能な方法を模索し実施するなどの工夫をしております。(D2520)

・特になし。オンラインで会議を開催する程度。(2510)

・例会をオンライン例会に変更したことで、会員の友人を招待でき会員増強にも貢献する。(RI2550)

・オンラインでの会議、例会を行っています。(2630)

・ZOOMを活用してのオンライン併用開催。(2640)

・オンライン例会(2790)

・アクターはロータリアンと比較してネットスキルの高い人が多くRCよりRACの工夫に頼ることが多いです。具体的には会議開催方法などです。(2800)

③ ローターアクトクラブが RI のメンバーとなってから、ローターアクトクラブの活動やローターアクターの意識に変化は感じられますか？

- ・感じます。ロータリアンはこの制度に反対しています。(2740)
- ・この変更がローターアクトからの熱望で決定したのでしょうか。大半のローターアクトにとっては実感があまり湧いていないと思います。ましてロータリアンの関心はほとんどないと言えるかもしれません。ローターアクトは事務局も事務職員もいませんし、基本的に若い従業員あるいは経済力のない学生が会員ですから、全てとは言いませんが現時点では RI メンバーと同等と扱うことに無理があるのではないのでしょうか。(記名なし)
- ・現況、変化はありません。今現在、地区にて今後のローターアクトに関して協議中です。(2700)
- ・そのような情報を知ってはいるが、具体的にどのように活動すればよいか指針等がなく、意識の変化というより迷いや戸惑いの方があると感じます。(2510)
- ・現時点ではローターアクターの意識の変化は感じられない。ロータリー会員の認識も一部を除き無関心。(2530)
- ・年齢制限の撤廃など少なからずアクター自身に身近に迫りかつ想像しやすい変化には気にしている会員は増えてきていると感じます。人頭分担金や危機管理の部分などの想像し難い部分に関しては意識がまだ薄いと感じます。現状は「意識」というより、「認識」のレベルだと思います。少しずつ意識するようにはなっていると思うが実際の活動には反映できていないのが現状かと思います。これからは、より「意識」を持ってもらい、活動に反映していただけるようにしなければならないと思います。(2650)
- ・RI の組織自体を理解できずにいる為、ロータリーについて研究する取り組みが多くみられた。(2660)

・現状は特にない。(2710)

・第 2580 地区（東京北部・沖縄）では、昨年度より地区委員会へのローターアクターの参加をして居りますが、却ってローターアクターへの負担が大きくなってしまっていて居ます。特にロータリーの委員会が平日昼間に開かれることが多く、参加意識向上には繋がって居ない様感じられます。

ロータリー側は RI からのプレッシャーを受けて、新規ローターアクトクラブ立ち上げや、ローターアクターを中心とした衛星クラブの設立をして居ますが、今のところ新規クラブ立ち上げによる会員食い合い状況が生じて居て、ローターアクターへの意識の変化に繋げることが出来て居ない様に感じますが、一応の増強は出来て居ます。

但し弱小クラブが一層追い込まれて休会になる場面も見られて居て、ロータリー側の都合で動いている様に見えます。

ノミニー制度採用を昨年度からローターアクト代表制度に採り入れましたが、相変わらず立候補する者が少なく、問題解決には至って居ません。これは学生やサラリーマンが多く、転勤や就職等で先が読めないのも、致し方のないことかも知れません。

ロータリアン同様の地位を与えられたものの、ロータリー側からの反発も多く（審査面や財政負担で劣後するのに何故アクトを同等に扱うのかと言う反対意見）、ローターアクト側には動揺も見られます。

次年度からは多少とは言え人頭分担金が発生し、その負担方法で提唱クラブと未だ合意出来ていない（補助金を貰って居るクラブが多い）状態です。

元々若者の奉仕活動への意識は高く、ロータリークラブと同じ地位を与えられることでの意識の変化は余り関係ない様に感じられます。若者からすれば奉仕する場を選ぶ立場で、ロータリー側がどの様な魅力を提供出来るかと言う問題だと考えますので、RI のメンバーになったことによる意識の変化は、負担増加によって却って日本ではマイナス面が出て居る様に感じます。

責任の増加は、やる気にも繋がりますが、ロータリー側の一方的都合での改革の様な印象が否めません。ローターアクト側は意識の変化と言うより不安感を募らせている状態だと思います。(2580)

・地区内では、実質的に活動するクラブ数が激減している中（現 3 クラブ）で、危機感をもって活動に取り組んでおります。RI メンバーとなったこと

で、意識に大きな変化があったとは言えませんが、前述の事由もあり自立と自律の意識は高まっていると感じます（自立・自律までの継続的なフォローは必要です）。（D2520）

- ・特に変化は感じられない。そもそも入会間もないアクトメンバーにローターアクトクラブを理解していないのに RI の話をして理解しなさいと言う事じたい無理です。（2510）

- ・ R I への会費に見合うものが無い。
あるアクターは、益々型にはまるので自由が無くなった。
R I 加盟に関してロータリアンから不服が出ている。
ロータリアンの会議に参加出来て良いと思うアクターもいる。
ロータリアンの理解や意識は以前と変わらない。（RI2550）

- ・現時点では、変化を感じておりません。（2630）

- ・特に感じていません。（2640）

- ・当地区では自覚や意識の変化までは至っていません（2790）

- ・RI のメンバーになったからというだけでなく、今、2800 地区のアクターたちは大きく動き出しています。2年後の全研が決まり、目標と期限がはっきりと定まって見違えるような変化が有ります。ぜひ、2年後の 2800 地区の山形の全研にこぞってご参加ください。（2800）

④ ローターアクトクラブとロータリアンの連携の現状やあり方についてのお考えをお聞かせいただければと存じます。

・特にありません。(2740)

・ある程度やむを得ない事でしょうが、提唱クラブと非提唱クラブで関心の温度差は否めません。RIメンバーになることでロータリアンの関心が少しでも増えてくれることを祈ります。(記名なし)

・提唱いただいているロータリークラブより、毎年援助金を各ローターアクトクラブはいただいております。提唱あり、なしに関わらず、援助金なしでの活動への変更を検討していくことが必要になると考えます。そのうえで、様々な形による連携ができるようになっていけば変化していくのではと考えます。(2700)

・ローターアクトと提唱クラブは連携が取れていると思いますが、アクトと関わりのあまりない RC はアクトの現状をあまり認知していないと感じます。仕方のない事ですが、アクトをもっと巻き込んだ行事を RC の方で企画していくことが必要であると感じます(2510)

・地区として、ローターアクトの全体像を把握していないので、まずは RAC の現況を整理する必要があり、着手したところである。その上で地区と RAC の情報交換をする必要がある。(2530)

・青少年プログラムから外れて指導する立場から共に行動していく立場になったと思います。アクターにより自主性や責任感を持って活動して頂けるような方向で活動したいと考えます。また、立場が同じになったからこそ、アクターからだけではなくロータリアンからの打診ももっと増やしていくことが必要だと感じます。その辺りの部分はやはり我々地区委員会が積極的にロータリアンに働きかけていかなければいけない部分だと考えます。(2650)

・もっとローターアクトとロータリアンが奉仕事業を通じて、親睦を深めなければならぬと思います。また ローターアクターは平均3年で卒業をさ

れるので、ロータリアンの1年任期のローターアクト委員長及び委員会を2～3年任期とし、ローターアクトに対し深く丁寧な理解と親睦を図る方法も考えるべきだと思います。(2660)

- ・ローターアクトクラブの人員、体制をロータリアンがバックアップする必要がある。特に、当クラブではクラブ数の減少や、地区活動に支障が出るなどの問題がある。会員増強だけでなく、ローターアクトクラブの状況のキャッチアップが提唱クラブをはじめとしたロータリアンに求められていると考える。(2710)

- ・ローターアクトが青少年奉仕から外れて、RIへの参加を認められたものの、③に書いた通りロータリー側の都合と捉えられ、ロータリーとの連携にもややぎくしゃく感が出て居ます。

衛星クラブもローターアクトクラブも、ロータリー増強と言う見方が強く出てしまい、ローターアクトからすれば余りメリットを感じられて居ないと思われます。

ロータリー側は高齢化で奉仕活動が低迷している面もあり、それを補完する意味で歓迎する向きもありますが、審査が緩く、財政面負担も少ないローターアクトの地位を上げることに對しては、ロータリー側に拒否反応が強く出て居る様に感じます。

若いエネルギーと発想を取り込むことは出来るものの、それに甘えて奉仕活動をアクトに丸投げしてしまう局面も見られます。指導する立場から同等になったので、ロータリー側だけの意識が変わってしまった負の面が見えます。

元々ロータリー側の不勉強でローターアクトを理解して居ない会員が多い様に感じられて居ましたので、提唱ロータリークラブとローターアクト間の連携には今のところ繋がって居ません。

しかし改革当初は何でも摩擦があるもので、新たな立場を得て、それが定着するまでの問題だと考えます。今までと違うので制度受入までに時間が掛かるものと想像します。

取り敢えずロータリー側が増強に動いただけでも良いことではないでしょうか。喉元過ぎたら終わりではなく、一緒に奉仕活動を重ねることにより、融合して行くものと想像しますが、コロナ禍でなかなかそれが出来て居ない

ことが残念です。(2580)

・コロナ禍の影響もあり、対面での会議や活動ができないことは、コミュニケーションを深める視点からも大きな影響があります。また、ローターアクト会員との連絡は業務時間内や休日での連絡等にも大きな配慮が必要であり、個人の携帯電話番号を交換すること等にも、本人の意向を重視するなど配慮しながら対応している現状です。(LINE・Eメールでの連絡が主で、返信まで数日を要するケースなどもあり、意見交換のうえ課題の解決を図る必要があります)(D2520)

・ローターアクトクラブをR Iメンバーに入れる事じたい混乱をきたしロータリークラブが掲げてきた崇高な哲学を破壊して行くことをR Iは何故理解できないのか不思議です。

ここ何代にも渡るR I会長は会員増強と財団寄付の事しか言えない。だから会員が増えず退会者が増えると考えます。

RIは個々のロータリークラブの管理団体では無いのです(2510)

・RCの卓話で高齢化するロータリアンに変わりこれからはローターアクトの時代になりさらにデジタル化が進むとロータリアンは時代に付いて行けなくなり、初めてアクターの価値を理解するのではと説きます。デジタル部門はアクターに任せ高齢ロータリアンにオンラインの指導を通し良きパートナーの形成を図るべき。(RI2550)

・ロータリアンとローターアクターの関わりについて、各クラブによって温度差があると感じております。やはり、提唱クラブとローターアクトクラブが密に連携する為に定期的に提唱クラブ例会への参加することが重要と考えます。密に連携しているクラブもあります。(2630)

・RIメンバーとなりましたので、今後はローターアクトの自立、事業の自主運営を目指すべきかと考えますし、そうなると地区アクト委員会の役割、または必要性も、自ずと変化してくるのではないかと考えます。(2640)

・当地区のローターアクトは地区が主体となってクラブが準じている状況で

す。

本来であればクラブが主体となるべきです。それには各クラブが提唱 RC との密な連携が必要不可欠であると考えます。合同例会や共同での奉仕活動などを日頃より積極的に行うのが理想で、これは提唱 RC の歩み寄りが大事です。(2790)

- ・連帯の現状という部分では当地区では主に RA 地区代表及び代表経験者が地区の組織に入っています。RA 委員会や青少年奉仕の委員会に入る事があれば次年度は地区の副幹事として地区運営に加わるアクターもいます。きっかけは3年前、国際会議にアクターとして参加した板垣元代表ですがそれに触発されて後続く人が出てきています。

その上で、自立するんだからお金を出さないとか、奉仕の対象ではないとかの後ろ向きな考え方ではなく、お金を集めるスキルを磨くことが大切だと思います。具体的には地区補助金やグローバル補助金の取得方法であったり行政からの補助や支援、他団体とのコラボによる活動費支出の削減など多くの方法が考えられます。もちろん定款細則やコンプライアンスを遵守しての話です。お金を集めるスキルが磨かれると、報告義務が生じ活動内容が磨かれ人を集めるスキルも徐々にですが磨かれていくと私は考えます。(2800)